

0⇒1 Acceleration Program 2020

0を1にできる「ゼロイチ人材」の育成を目指す「ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム」を、昨年度に引き続き、鳥取大学と鳥取大学振興協力が連携して開催します。

現代は予測不能で不確実な時代であり、地域社会は今未曾有の転換点を迎えつつあります。

さらに昨年までは予想もつかなかった新型コロナウイルスの影響により、今までの価値観や行動様式は変容を迫られ、新しいスタンダードが求められるようになってきています。そのような変革期にこそ、個人が創造力を育み、みずからリスクを恐れず行動し、「構想力」と「価値創出力」を持って次世代を切り拓く人材が求められています。

本講座はそうした人材を育成するため、変化の激しい時代を生き抜くための個人のマインドセット変容や、地域社会をデザインしていく力、新たな働き方、行政の在り方など、ウィズコロナ時代をサバイブする知見と行動様式を学んでいきます。

Organizer 多田 憲一郎 / 鳥取大学地域学部教授

プログラムファシリテーター：安川 幸男 / 合同会社イキナセカイ 代表
国立大学法人 神戸大学客員教授

出版・メディア業界を経て、2001年に株式会社NTTデータに入社。社内ベンチャー設立など、15年間NTTグループで事業開発を担当。2016年、鳥取へIターン移住。鳥取県庁へ入庁。商工労働部にて起業家支援を担当。2018年、株式会社鳥取銀行へ移り、ベンチャー型事業承継（アトギベンチャー）、地域創生、大学とのイノベーションプログラムを推進。2020年、産学官金すべてを経験したことを活かし、事業プロデュースに特化した合同会社イキナセカイを立ち上げる。神戸大学客員教授就任。



対象

一般・学生

参加費

ワークショップ(全5回)：10,000円

(鳥取大学振興協会会員企業の役職員および鳥取大学在学学生・教職員については無料)
(リモートによる視聴のみの希望者は無料)

定員

20名【要申込】

リモートによる視聴も可能。ただし、リモートによる視聴が100名を超える場合には、視聴をお断りする場合がございます。

申込締切

2020年11月25日(水)

会場

鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボ
(広報センター内 鳥取市湖山町南4-101)



お申込先

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室

Mail: koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp (担当：阿部)

Tel: 0857-31-6777

お申し込みはWEBでの申込フォームか、メールにて、氏名・所属・連絡先(電話・メール)をご連絡ください。

申込フォームURLはこちら：<https://forms.gle/a7gZroPXNXDSSPML8>



0⇒1 Acceleration Program 2020

鳥取大学公開講座

0

1

ゼロイチ・
アクセラレーション・
プログラム 2020

求む
参加者



国立大学法人鳥取大学 × 鳥取大学振興協力会

プログラムの目標 = 意識の変容 / 価値観のアップデート

予測不能な社会・経済環境に必要なマインドセットと、
プロデュース力を身につける

Concept
思想・哲学・意味
(すべての土壌)

1 哲学的対話

3 地域創生

地域・社会
行政
Society 5.0

広い教養、睿美眼を持ち、
事業構想できる
意識改革

2 意味の イノベーション

異分野結合
(産学官連携)

領域を超えて異分野をつなげる
プロデューサー型人材

5 行政改革

4 新たな働き方

組織から
個の時代へ

進行スケジュールイメージ

- ・導入(講義) 15分
- ・グループ対話・共有 20分
- ・主題①(講義) 15分
- ・グループ対話・共有 20分
- ・主題②(講義) 15分
- ・グループ対話・共有 20分
- ・まとめ 15分

1



with



2020

12/01 Tue 18:30~20:30

「自由になるための哲学」

現実には予測がつかず、常に化する複雑な時代のなかで考えや行動の羅針盤となる「哲学」を対話から学びます。特に「自由」という概念や、自分らしさと世界の変化、生成していく個人を通じて、今後の自己の生き方や事業を展開していく上での糧となる考え方を身につけていきます。

講師：森内 勇貴 氏 / 哲学者

岡山県津山市在住。早稲田大学人間科学部卒業。独学で哲学を探究。

「生を活かす哲学」の体系化を模索中。東京で様々な仕事を経て、津山へ帰郷。現在、「PORT ART&DESIGN TSUYAMA」にて哲学講座「座-学”the”-GAKU」を開催。また、Yokoyama「菊地」を主催し、教育活動に従事。

ゲストファシリテーター：佐々木 友輔 / 地域学部 地域学科 地域創造コース 講師

2



with



12/14 mon 18:30~20:30

「意味のイノベーション」

「便利」という機能的価値ではなく、「意味」を見出すというプロセス自体が社会や経済活動に求められています。イノベーションを生み出すための新たな方法論として、「意味のイノベーション」という言葉が注目を集めています。「批判性を伴ったアプローチ」や「ユーザーへの共感」ではなく、創り手個人の思いや熟考から始めるプロセスを学び、一人一人が「意味」を考え、創り出す土壌を学んでいきます。

オンライン講師：小田 裕和 氏 / 株式会社ミミクリデザイン マネージャー/リサーチャー

東京大学大学院 情報学環 特任研究員。千葉工業大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。千葉県出身。新たな価値を創り出すための、意味のイノベーションやデザイン思考といったデザインの方法論や、そのための教育と実践のあり方について研究を行なっている。ミミクリデザインでは、新たな意味をもたらすための商品開発プロジェクトや、主体的に価値創造に取り組む人材の育成プロジェクトを中心にディレクションやファシリテーションを担当している。

ゲストファシリテーター：木原 奈穂子 / 農学部 生命環境農学科 生命環境農学講座 講師

3



with



12/23 Wed 18:30~20:30

「Local to Local 地域と地域をツナグ」

一地域に閉じず、地域を超え広域でビジョンを共有し、コミュニティ同士をつなげていくことが今求められています。「山陰海岸ジオパーク」の東の起点となる京丹後市、西の起点となる鳥取市を人でつなぎ、地域をどのようにデザインしていくかをデータ活用、マーケティング手法に焦点を当てながら実践的に考え取り組んでいきます。

講師：原 康太郎 氏 / 京丹後 Re-Bornプロジェクト

福岡県北九州市出身。立命館大学大学院理工学研究科卒業。2008年にNTTドコモへ入社。アスリート支援クラウドファンディング事業立ち上げやスポーツビジネス（Jリーグのデジタルマーケティング支援）を経て、2019年にNTTドコモを退職。京丹後に移住し、京丹後市地域雇用促進協議会プロジェクトリーダーに就任。同プロジェクトで企業や個人のチャレンジを支援し新規事業創出を目指す。

ゲストファシリテーター：桑野 将司 / 工学部 社会システム系土木学科 教授

2021

1/20 Wed 18:30~20:30

「組織から個の時代へ～都市と地方の新しい関係」

終身雇用、年功序列型の日本型雇用システムが今変わろうとしています。場所や時間に縛られない新たな働き方、組織に所属しながら複数のプロジェクトに携わる「複業人材」など、多様なワークスタイルを地方というフィールドで稼働させるテーマを、鳥取出身で東京で活動する若手人材と議論していきます。

オンライン講師：石川 貴志 氏 / 一般社団法人 Work Design Lab

リクルートエージェント（現リクルートキャリア）の事業開発部門のマネージャーを経て、現在、都内の大手事業会社にて勤務。2012年より社会起業家に対して投資協働を行うSVP東京のパートナーとしても活動。2013年にWork Design Labを設立し「働き方をリデザインする」をテーマにした対話の場づくりや、イントレプレナーコミュニティの運営、また企業や行政等と連携したプロジェクトを複数手掛ける。

オンライン参加：東京で挑戦する鳥取若手人材

5



with



2/11 Thu 18:30~20:30

「地域経営

～新たな行政のカタチ アジャイル行政の挑戦」

26歳の若さで、史上最年少の副市長となった毛塚氏を迎え、つくば市における行政の組織改革、民間企業との社会実験や大学や研究機関との共同プロジェクト、市長公約の82事業について、4年間での達成・順調が90.4%というロードマップを具体的に振り返りながら、これから必要となる「地方都市の経営」について学んでいきます。

オンライン講師：毛塚 幹人 氏 / つくば市 副市長

つくば市副市長。1991年2月19日生。栃木県宇都宮市出身。東京大学法学部卒業後、2013年に財務省入省。国際局国際機構課G20・IMF担当、主税局総務課等を経て2017年に退職し、同年4月より現職。政策企画、財政、経済振興、保健福祉、市民連携等を担当。Forbes 30 Under 30 Japan 2019選出、世界経済フォーラムGlobal Shaper。

ゲストファシリテーター：多田 憲一郎 / 地域学部 地域学科 地域創造コース 教授